



最近やっと、社会経済活動や人々の生活に明るさが戻って来ました。このプロジェクトでも、ほぼ制約のない対面での交流が再開できました。立ち会った交流会やインタビューでは、参加された皆さんの前向きで微笑ましい変化を目の当たりに出来て、ささやかな幸せを感じました。これからは、コロナ前と何か違った新しい交流のあり方が、地域に根付くことが期待出来る様な気がします。(清水基金・原田健児)

八重洲の昭和子ども園さんに取材へ伺いました。オフィス街のど真ん中、まさかこのような場所に、と驚くような立地です。エレベーターを降りると、デジタル映像の鳥が飛んできて園の入口までご案内、中に入るとデジタルキノコで遊べる仕様になっていました。

交流しているほがらかサロンの参加者とは、距離的に離れていることもあり、街中で顔を合わせる機会はないようですが、交流をコーディネートしたソーシャルワーカーさんとは近隣の公園で会うことがあるそうです。パン作り体験をしたレストランのスタッフや近隣企業の職員さんなど、地域での顔見知りが増えることで、子どもたちのこの地域への愛着が大きくなるよう期待しています。(朝日新聞厚生文化事業団・古屋厚子)

### 中央区社会福祉法人連絡会とは

社会福祉法人の持つ力を活かして地域のニーズに対応していくため、区内21法人が連携し、地域社会に貢献する取り組みを実施しています。おたよりでつなぐ“まごころ”プロジェクトの他、下記取り組みを実施してきました。

#### 福祉体験合宿

将来の福祉人材・担い手の育成のために、子どもに体験の場を提供するとともに、家族ぐるみで地域福祉への理解を促進することを目的としています。



#### ポッチャ体験&福祉ちょこっと相談会

高齢者、障害者、児童など地域の様々な人々が交流できるイベントとして、平成28年度から「ポッチャ体験」と、福祉について気軽に相談できる「ちょこっと相談会」を行っています。



### 参加法人一覧(五十音順)

朝日新聞厚生文化事業団/木下財団/幸福義会/済聖会/賛育会/清水基金/シルヴァーウィング/信和会/清香会/ちとせ交友会/中央区社会福祉協議会/東京児童協会/東京都手をつなぐ育成会/トリーケアネット/長岡福祉協会/ひかりの子/奉優会/松の花基金/道輝会/山鳥の会/わたなー

中央区社会福祉法人連絡会事務局 (中央区社会福祉協議会)

〒104-0032 中央区八丁堀4-1-5 TEL 03-3206-0506 eメール koueki@shakyo-chuo-city.jp

# おたよりでつなぐ まごころ プロジェクト MAGOKORO PROJECT



## コロナ禍に始まった「おたより」を通じた 地域のつながりづくりプロジェクト

コロナ禍で分断されている地域のつながりを紡ぐことを目的に、令和3年度より実施しています。区内の保育園・幼稚園と高齢者・障害者施設、高齢者向けサロンが交流するプロジェクトです。

(本プロジェクトにおける)高齢者向けサロンとは  
区内の高齢者を対象に介護予防や交流を目的に月に1~4回活動している団体。中央区「高齢者通いの場」や中央区社協「いきいき地域サロン」が含まれます。





# おたよりでつなぐ ”まごころ”プロジェクト

令和5年度は全68の施設・団体が参加しました!

高齢者  
施設

高齢者向け  
サロン

障害者  
施設

# えがお



ほがらかサロン日本橋  
阪本こども園



みんな  
元気に!  
浜町カフェ  
グローバルキッズ浜町園



日本橋高齢者在宅サービスセンター  
まちのてらこや保育園



いっしょに  
おとぼ!

ケアハウスあいおい ♥ 保育所まあむ月島駅前園



グループホームあいおい  
月島聖ルカ保育園



よろこんで  
もらえるかな

さわやかワーク中央 ♥ 十思保育園



日本橋高齢者在宅サービスセンター  
ほっぺるランド日本橋堀留町



勝どき敬老館  
ほっぺるランド勝どき



楽しいね!  
銀座ぶらっとサロン ♥ Kuukids銀座



よりみちクラブ ♥ ベネッセ勝どき保育園



マイホーム新川 ♥ アイグラン保育園水天宮



これで1年間  
がんばれます!



晴海苑 ♥ 月島幼稚園



絵画を楽しむ会  
月島雲母保育園



みんなて  
つったよ

ココファン勝どき  
ほっぺるランド新島橋かちどき



ママ  
じょうず!



ありがとう!



福祉センター ♥ みちてる保育園







高齢者  
施設  
高齢者向け  
サロン  
障害者  
施設



この他に、[クローバーズ・ピア日本橋 ♥ 有馬幼稚園]、[ケアサポートセンター十思 ♥ にじいろ保育園小伝馬町]、[シルヴァーウィング新とみ ♥ 阪本こども園]、[Tokyo Rose ♥ ほっぺるランド東日本橋]が交流されました!







### 高齢者施設

株式会社ニチイケアパレス  
ニチイホーム勝ちどき  
生活相談員  
おもり ひとみ  
大森 一美さん

交流しました  
勝ちどきこども園

### プロジェクト参加への思い

コロナ禍が収束しつつあり「地域との交流を図りたい」と思っていた時に社会福祉協議会からお声掛けしてもらったことが参加のきっかけです。

入居者の皆様はもともと中央区にお住まいの方が多いため地域に根ざした活動をしたい、地域の一員と役割を果たしたいと思い参加いたしました。

### 交流時の様子・後日談、交流で感じたこと

入居者の皆様は核家族で生活していたため小さいお子様と交流する機会は多くありませんでした。そのため、園児たちとの交流として実施しているお誕生日会は本当に喜ばれています。

交流時は認知症により普段の表情が乏しい方が「ありがとう」と一言発する様子や、発語がなかなか難しい方が「ありがとう」と一言発する様子が見られ、私たちがなかなか引き出せなかった入居者の持つ力を引き出すことができました。

園児たちにとっては入居者の皆様は曾祖父母にあたる世代でなかなか交流することがないかと思いますが、とてもフレンドリーに交流してくれました。



すでに3回交流しましたが(※取材時)毎回入居者も園児たちも交流を楽しみにしてくれています。交流する園児たちは毎回同じクラスのため、「また来月くるね!」と言ってくれます。

1人ずつプレゼントをいただきとてもありがたいです。今後はレクリエーションの際に作品を制作し、その作品をプレゼントすることができたらいいなと思っています。

### プロジェクト参加による利用者、参加者、スタッフの変化

普段は職員がせわしく動いており、入居者の皆様に付きそってゆっくり参加する機会がなかなかありません。

お誕生日会の際は可能な限り職員も参加し、夜勤明けの職員も一緒に参加して交流を楽しんでいます。

入居者の皆様にとってお誕生日は「あと何回お迎えできるかわからない大事な日」です。そのため普段お部屋で過される方にもお誕生日会にご参加いただけるように職員が協力しております。

### 今後、地域とのつながりのためにやりたいこと

今回の交流は続けていきたいですね。  
また、ボランティアの方の特技や趣味を生かした交流もしていきたいです。



### 障害者施設

社会福祉法人中央区社会福祉協議会  
さわやかワーク中央  
所長  
ますだ ゆみこ  
増田 由美子さん

交流しました  
十思保育園

### プロジェクト参加への思い

当事業所は東日本橋にて、障害者の就労継続支援B型として、軽作業や点字名刺作成、公園等の清掃を行う仕事をしています。社会福祉協議会が運営していることもあり、地域との交流を意識しておりますが、コロナ禍から利用者の健康面を考慮して直接交流は行えていませんでした。5類となり久しぶりに交流出来ればと参加者を募り、4名の利用者で直接伺う事が出来ました。

### 交流の様子

しっかりした印象の年長組さんに迎えられる緊張気味でしたが、手話ダンス披露や手作りの切手看板贈呈、園児からのダンス、ハイタッチとプログラムが進むにつれて打ち解けて楽しんでいました。日ごろ中々得られない事業所外の方との交流の機会となり、園児にとっても普段接することが少ない障害のある方と接する機会から、多少なりとも障害への理解を深めてくれたと思います。

### 行った内容、後日談

普段から休憩中の気分転換として行っている手話ダンスを初めて外部で披露しました。参加するメンバー以外もダンスの練習に積極的に取り組み、施設全体で関わる事が出来ました。

切手看板は以前から自主製品として販売している切手作品をよりアピールできないか、との考えから誕生しました。施設名の看板を切手で作成したところ、可愛いと好評だったので、十思保育園さんにも喜んでもらえればと作りました。これまでの製品づくりの経験を活かして全員が関わり完成させることが出来ました。



交流後の帰り道、利用者の誰からともなく「全員で歌いながらダンスすれば良かった」と自発的に反省会を始めたのには驚きました。また交流したい気持ちがあるようなので、引き続きの交流も検討しながら、事業所を地域にもっと知ってもらえるような活動を展開したいと考えています。



### 高齢者向けサロン

ほがらかサロン京橋  
リーダー  
ほこもり ゆみき  
箱守 由記さん

交流しました  
昭和こども園

### プロジェクト参加への思い

ほがらかサロンは地域に住んでいる70歳以上の方を対象として、食事や懇談、レクリエーション等を行っています。普段は子ども達と一緒に過ごす機会が無いので、プロジェクトを通して交流出来たのはとてもありがたかったです。

### 交流内容のアイデア

一回目は縁日を行いました。元々佃のサロンで縁日を開催した時に好評だったようなので、京橋でも行おうと考えていたところ、丁度プロジェクトの話もあり、せっかくなら子どもたちも含めて楽しめればと思い、開催しました。夏の暑い中を30分かけて歩いて来てくれて大変だったと思いますが、利用者も一緒にボール投げや釣りゲームを楽しむことが出来ました。

二回目はモルック(フィンランドの伝統的なスポーツ。モルックと呼ばれる棒で数字の書かれたピンを倒して遊ぶ)を行いました。こちらは当初から予定していたレクリエーションでしたが、ルールを理解して楽しんでもらえました。一人だけの時に当たらず悔しくて泣いてしまった子もいましたが、先生とも確認を取って特別扱いせず、良い経験として楽しんでもらえたと思います。



### 今後について

引き続き交流をしていきたいと思っています。地域の特性上、核家族で周辺の子供たちはお年寄りと接する機会も少ないと思いますし、こちら元気をもらえるので双方にとって良い機会になっていると感じています。機会があればこども園さんにもお邪魔させて頂きたいのですが、歩いて伺うのは難しいので何かのイベントの際にお声がけ頂いて、外出のイベントとして伺えると嬉しいなと思います。

他施設・団体の  
インタビュー記事はこちら



### 保育園・幼稚園

社会福祉法人 東京児童協会  
昭和こども園  
園長  
いわもと けいこ  
若本 恵子さん

交流しました  
ほがらかサロン  
京橋

### プロジェクト参加への思い

昭和こども園は、令和5年4月開所の新しい施設です。人や地域とつながることを大切に考えており、特に高齢者との関わりを持ちたいと思っているところに、このプロジェクトを知り参加を決めました。オフィスが多いこの地域では、高齢者に関わる糸口を見つけられなかったため、今回参加のお誘いをいただいたのはとても幸運でした。

### 交流の様子と後日談

「ほがらかサロン京橋」の皆さんと、9月の初交流ではサロンでの縁日で玉入れや釣りゲームを、11月の2回目の交流では北欧発祥の木の棒を投げてピンを倒す遊び「モルック」を一緒に楽しみました。

八重洲にある園から京橋までは、歩いて30分ほどかかります。お昼ご飯の時間までに帰らなくてはいけないので、一緒に過ごせる時間は長くないですが、サロンの方たちは子どもたちの姿を見て「かわいいわね」と喜んでくれ、子どもたちは「モルック」の真剣勝負に勝利して喜ぶ姿や、持参した折紙作品の遊び方を「教えてあげられた」と喜ぶ姿が見られました。

子どもたちから「次はいつサロンに行くの?」という声もあり、交流の意義を感じます。これから人口が減っていき、人との関わりが希薄になっていくことが想像されますので、今のうちに人との交流で得られる豊かな気持ちを育ててほしいと思います。



### プロジェクト参加による利用者・参加者・スタッフの変化

ほがらかサロンへは子どもたちと私と職員で出向き、それぞれにとって貴重な経験となっていると思います。

また、本園では「体験すること」を大切にしており、園児の保護者が先生を務める鮭の解体見学や、園と同じビル内にあるレストランでのパン作り体験を行っています。子どもたちには、こういったすべての体験を糧に、人とつながり、思いやりの心を育ててもらいたいです。

### 今後やりたいこと

このような交流を今後も続けていければと考えています。園のある八重洲はオフィスがとても多く、世界中の人、またこの地に住む人も大勢います。歴史も未来もあるこの地域で、ただ「過ごす」のではなく、一歩踏み込んで色々な方々、企業と「交流」していきたいです。